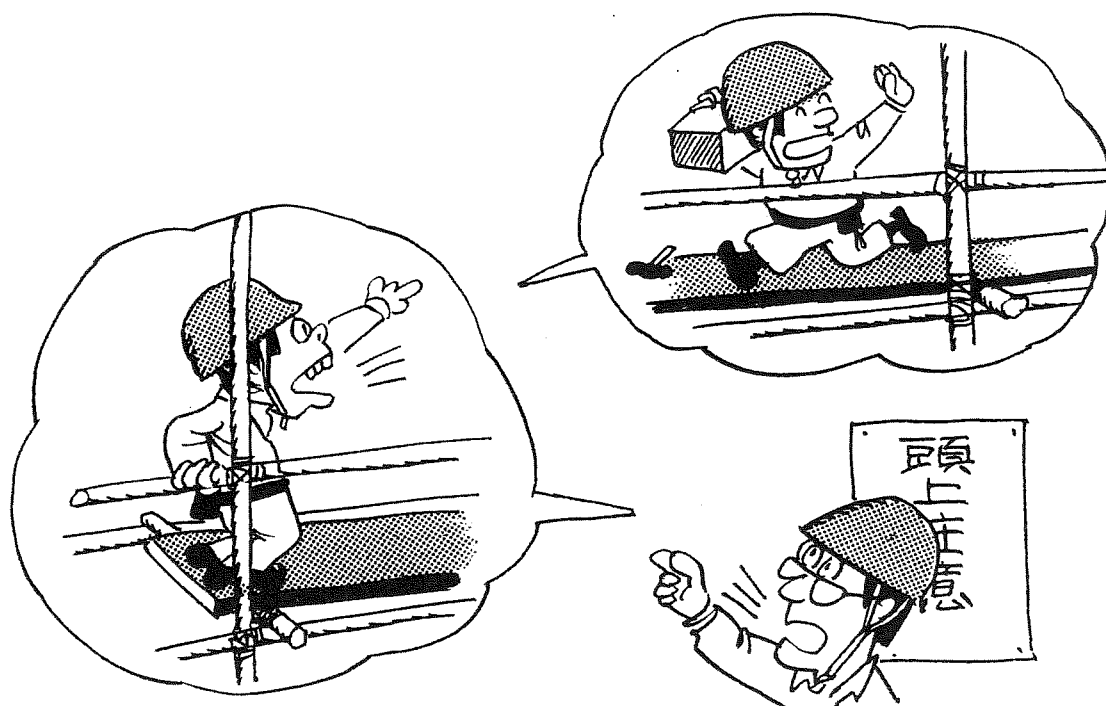


おかめはちもく

傍目八目

同僚の不安全行動には忠告を



「傍目八目」とは、他人が打っている碁を傍で見ている人は碁を打っている本人よりも冷静で、八目先まで見通せるという意味から、「当事者では気づかないことも第三者にはよく分かるものだ」という例えです。

私たちの職場の中でも、本人は何も気づかずに平気でやっている作業も、傍の目から見ると危険な作業行動であることがよくあります。

このようなとき、ひと声忠告してあげることによって、本人が危険に気づいて災害を免れることが少なくありません。

囲碁や将棋の場合は、横から忠告するのは余計なお節介として嫌われたりうるさがられたりしますが、職場での不安全行動に対する忠告はとても大切なことです。

最近の風潮として、他人は他人、自分は自分として、他人のことに干渉しない傾向がありますが、職場では同僚などの不安全行動に対しては大いに忠告し合い、声を掛け合うことが本当の親切であると同時に、安全職場の基本でもあります。